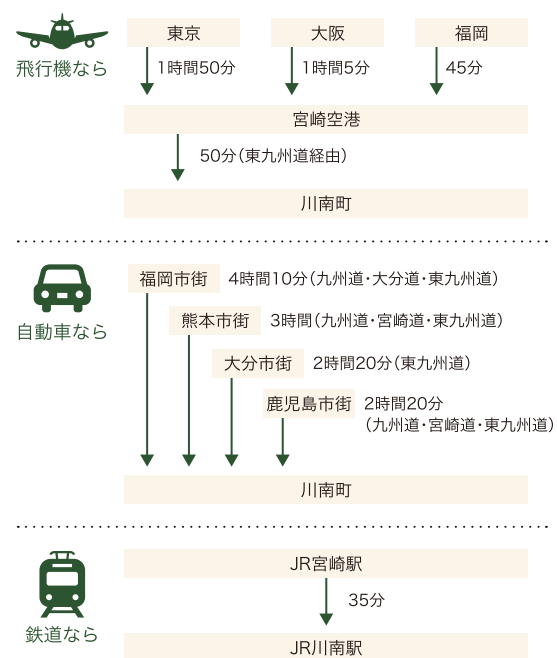




SYUNNOU

川南町農業就職支援ガイド

アクセス to 川南



川南町新規就農支援協議会

(事務局:川南町役場 産業推進課 農政園芸係)

〒889-1301 宮崎県児湯郡川南町大字川南13680-1

TEL 0983-27-8011 FAX 0983-27-7558

一緒に
さららピーマン
作りませんか?



農業研修生のみなさん

宮崎県川南町

川南町で 農業始めませんか

川南町では農業研修生を募集しています。研修で生産するのは町オリジナルの『さららピーマン』。通常のピーマンのような苦みがほとんどないため、小さな子どもや苦手な人でも食べられることから首都圏などを中心に人気を集めています。

専門指導者による2年間の座学研修と実践研修で農業経営に必要な知識と技術を修得。研修後は川南町やJAなど関係機関が就農と定住を支援していきます。



KAWAMINAMI TOWN

農業パイオニアのまち

宮崎県中部に位置し、雄大な尾鈴山と日向灘にはさまれるように果てしない大地を有する川南町。温暖な気候は農業に最適で、野菜や花、茶、畜産など県内有数の生産高を誇ります。また、農業に夢を描いた先人たちによる開拓の町としても知られ、『日本三大開拓地』の一つに数えられています。

なぜ「さららピーマン」なのか



● 経営が安定している ※下記経営指標参照

- ①契約栽培により価格が安定、農業収入が450万円/10aが可能
- ②ハウス栽培により、天候に左右されにくい。
- ③消費者からの評価が高く、今後の需要拡大が見込める。

● 充実した研修施設（トレーニングハウス）

- ①規格：中期展張ハウス 30a
- ②付帯設備：自動開閉機、加温機、環境制御システム外
- ③管理運営主体：株式会社アグリトピアおすず

● 研修後の独立を後押し

- ①JA尾鈴ピーマン部会員の積極的な指導
- ②JA・県・町の関係機関による巡回指導
- ③JA等による農地の斡旋、ハウスのリース事業や融資が利用可能

「さららピーマン」って？

さららピーマンとは、通常のピーマンよりも苦みが少なく、小さな子供や苦手な人でも食べやすい人気があるピーマンです。また、農林水産省の特別栽培農産物の認定を受けている品目なので、地域の慣行レベルに比べて使用農薬が50%以下となっています。



20aで / 売上げ目標 **1,000万円!**

■JA尾鈴さららピーマン 10a当たり経営指標

収入		経費	
・10a当たり販売量	13,000kg	・種苗費	125,000円
・経営面積	10a	・肥料費	240,000円
・販売量合計	13,000kg	・農薬費	150,000円
・単価	350円	・諸材料費	550,000円
・売上高	4,550,000円	・動力光熱費	1,050,000円
・雑収入	0円	・小農具費	15,000円
・収入合計	4,550,000円	・荷造運賃手数料	0円
所得		・修繕費	60,000円
・所得	2,320,000円	・その他経費	40,000円
・所得率	51%	・経費合計	2,230,000円

※ハウス施設、農業用機械を除く

■作付体系図

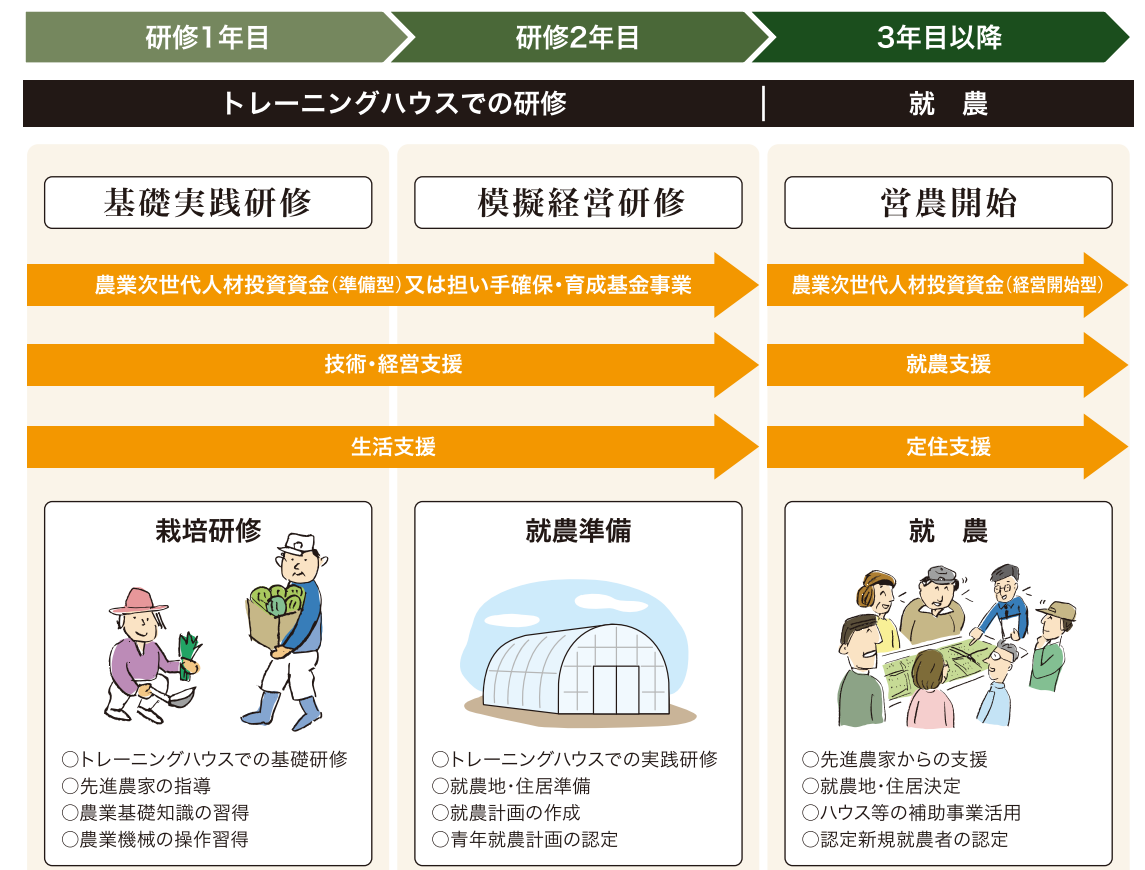
面積単位	作物名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
10a	促成ピーマン	■	■	■	■	■	■		○	◎	■	■	■

※図示法…播種=○、定植=◎、生育期間=—、収穫期間=■

募集要領

募集人員	農業研修生3人
研修期間	1年以上 最長2年間
応募資格	○農業に対する強い意欲のある新規就農希望者で、アグリトピアおすずが管理運営するトレーニングハウスで、1年以上継続して研修を受ける者 ○川南町民である者又は川南町に移住し、研修終了後は川南町内に就農、定住する者 ○心身共に健康であること。 ○18歳以上の者
研修開始	毎年7月から
研修作物	さららピーマン(農林水産省特別栽培認定)
募集期間	随時
受入決定	○選考方法：書類選考、面接により研修生を決定いたします。 ○面接日：第1次…2月上旬 第2次…随時 ※第2次は第1次で定員を満たした場合には実施しません。 ○研修生の受入決定の可否については郵送で通知いたします。

就農までのスキーム



- ◆ 座学研修では、農業基礎、経営能力の習得をはじめ、実践的な研修を受けることができます。
- ◆ 栽培研修では、ピーマンに特化した高度な専門技術を身に付けることができます。
- ◆ 先進技術研修、先進地視察研修などを通してネットワークづくりが可能です。

研修内容		回数	時間	担当者
農業経営講座	入門編	2	3	児湯農業改良普及センター
	基礎編			
栽培技術基礎講座	農業	8	15	児湯農業改良普及センター
	病害虫診断・防除			
	土壌肥料			
	農業と気象			
	植物生理			
	栽培暦			
	土づくり			
農業機械講座	農作業安全	2	6	児湯農業改良普及センター
	農業機械の取扱い			アグリトピアおすず
就農支援制度・各種法律講座	農業次世代人材投資事業	8	9	川南町役場
	青年等就農計画認定制度			JA尾鈴
	危機管理・GAP研修			川南町役場
	融資制度			NOSAI宮崎県児湯センター
	農地法・農業者年金			川南町役場、児湯農業改良普及センター
	農業共済制度			
	営農計画			
農業一般講座	青色申告	4	6	JA尾鈴
	所得税			
	簿記記帳研修			
	販売・マーケティング研修			
栽培技術向上研修	栽培講習会	12	27	JA尾鈴ピーマン部会
	全体研修会			
	目揃え会			
	研修先巡回			
	土壌肥料・施肥設計			JA尾鈴
座学研修			66	
実践栽培研修			約300日	アグリトピアおすず・専属講師

01 研修期間中の支援

① 農業次世代人材投資資金（準備型）（国）

研修期間中、農業技術や経営ノウハウの習得に対し、最大2年間150万円を交付します。
（就農時の年齢が、50歳未満に限る。）

② 新規就農生活支援助成金（町）

研修生への生活支援として①の要件を満たし、住宅を購入又は間賃貸住宅に居住した場合、最大2年間月額5万円を交付します。（夫婦ともに研修生の場合は月額7万5千円）

③ 普及センターやJA職員による技術指導支援

研修期間中は、指導員による栽培技術指導、児湯農業改良普及センターやJA尾鈴による経営指導を受けることができます。
※就農後も、引き続き関係機関による巡回指導を実施します。

02 農業を始める時の支援

① 農業次世代人材投資資金（経営開始型）（国）

就農初期段階の青年就農者に対し、最大5年間150万円を交付します。

② 農地のあっせん・ハウス取得への支援

ハウスのリースや新設、中古ハウスの取得に対して支援します。

③ 先進農家による助言・指導

就農後もピーマン部会や先進農家らの助言・指導を受けることができ、困ったときの手助けとなります。

03 定住支援

① 県外からの移住者支援補助金

県外から川南町に移住し、住宅を購入又は民間賃貸住宅に居住した人に15万円を補助します。

② 子育て支援

- 【医療費助成】1診療につき末就学児は300円/月
18歳以下であれば1,000円/月で治療が受けられます。
- 【保育料軽減】保育料を国の基準額の5割程度まで引き下げています。
- 【高校生の就学支援】高校生1人につき、5,000円/月の就学支援金を支給します（3年間）

③ 住居を探す活動を支援

- 川南町の生活を体験したい人や移住を考え住居を探す活動を支援します。
- 【お試し滞在施設】1日あたり500円で利用できます。
- 【お試し滞在助成金】民間宿泊施設を利用した場合、1泊あたり4,500円を助成します。

④ 持家取得助成

- 平成31年4月1日以降に住宅を取得した方に、ご夫婦（ひとり親も対象）の合計年齢によって以下の助成金を交付します。
- | | |
|---------------|---------------|
| 合計100歳以下…50万円 | 合計80歳以下…60万円 |
| 合計70歳以下…70万円 | 合計60歳以下…100万円 |

さらら ピーマンの ススメ

13軒の農家が所属している川南町のピーマン部会。その中で若手のホープとして奥様の香菜子さんと共にピーマン作りに励む吉玉一敬さんに、さららピーマンについて聞きました。

いつからさららピーマンの生産を？

実家が昔からピーマンと米を作っているのですが、25歳の時に会社勤めを辞めて実家を手伝うようになりました。それから12年間、さららピーマンを栽培しています。

さららピーマンの現状について教えてください

私がピーマンを作り始めた当時の収穫量は部会総計で7トン程度だったのですが、現在は11~12トンとかなり増えています。目標の13トンに向けて部会をあげて取り組んでいるところです。

それだけ需要が増えているんですね

さららピーマンは主に関東・東北に出荷しているのですが、毎年私たち部会の人間が出向いて勉強会や試食会

を行って魅力を発信しているんです。その効果もあって、需要は徐々に伸びています。

毎回、お客さんからは良い評価をいただくのですが、直接そういった声を聞けるのが、生産者にとって何よりの喜びなんです。これからもこの取り組みを続けて、さらに多くの人にさららピーマンのことを知ってもらいたいですね。

ピーマン作りの1年を教えてください

10月~翌年の6月までが収穫期間で、夏場に播種と定植を行います。うちの場合は父親が米を作っているので、田植えや稲刈りなどの作業が重なることもあります。

収穫は毎日行うのですか？

収穫期間中は毎日行いますが、日曜日は休日にしています。作業の開始は朝の9時、終わるのが16時30分なので、一般的な会社員と比べたら時間的なゆとりがあるん



1. 写真左から、吉玉一敬さん・有冨くん・陽飛くん・宇花ちゃん・香菜子さん
2.3. 8月の播種に向けて準備をする一敬さんと香菜子さん

ですよ。

さららピーマンは通常のピーマンより単価が高いと聞きました

ここ5年ほどのキロ単価は高水準で推移しています。おかげで収入が安定しているのでありがたい限りですね。お客様に評価してもらえるよう更なる努力をしていきたいです。

さららピーマンを栽培するのに大切なことは？

基本的な部分はみんな同じなのですが、部会の中でもそれぞれのこだわりがあって、そこが面白いところもあるんですよ。

私の場合は、いっどれくらい水を飲みたいのか、いつハウス内の空気を入れ替えてほしいのかなど、“ピーマンの

気持ち”を察することを大切にしています。

今後のピーマン部会の展望は？

部会の13軒のうち半数が60~70代と高齢化が進んでいるので、後継者の確保が課題としてありますね。今後、さらに需要が増えていくことを考えると収量を増やさないとイケませんから。

そのためにも若い方が来てくれるとうれしいです。部会にはみんなでピーマンを盛り上げていこうという機運があるので、やる気さえあれば、みんな指導や相談などどんどんバックアップしていきます。ですので、ぜひ研修制度を利用してもらえたらと思います。

ピーマン農家への道は 楽しみだらけ

2018年に福岡から移住してきた保坂政孝さん・美幸さん夫妻。農業経験がまったくなかった二人は今、第1期の農業研修生としてピーマン作りの真っ最中です。



保坂美幸さん
(33)

保坂政孝さん
(37)

移住の目的であった“二人でのんびり”とした暮らしを楽しんでいます

まさかの農業へ

「会社から帰宅するのが連日のように夜中になってしまい、なかなか二人の時間を作れなかったんです。そんな毎日に嫌気がさして、どこか違う場所でのんびり暮らしたいなあと思うようになったんです」と福岡での日々を振り返る二人。その場所を求めて日本を一周し、川南町への移住を決めました。

今ではすっかり農作業が板に付いている二人ですが、もともと農業をしようとは考えていなかったといいます。「移住することが一番の目的だったので、農業ありきではなかったんです。たまたま宮崎県の移住相談窓口で川南町の農業研修生のことを知って、面白そうだなと思って」と、二人で研修を受けることを決めました。

将来を想像しながら楽しく研修

2018年7月にスタートした研修は、まずトラクターの乗り方やハウスのビニールの張り方など農業の基礎となる内容から始まり、8月に土作り、9月には定植と、さらさらピーマン作りの実践へと進んでいきます。

「研修生はそれぞれ30aのハウスでピーマンを栽培するのですが、部会の方たちが丁寧に指導してくれるので

とても心強いです。実際に自分たちだけでやり始めたらどんな風なんだろうと想像を膨らませながら、とても楽しく研修を受けさせてもらっています」と声を合わせる二人。会社員時代とはまるでやりがいが違うと、政孝さんは目を輝かせます。

理想としていた暮らし

「まだ研修期間中なのですが、農業を始めてから時間に追われることがなくなりました。毎日夕方には作業が終わって、そこから“今日は何食べる”っていう話になるんですけど、福岡にいた頃には二人の時間が合わなくてそんなことはありませんでした」と笑う美幸さん。実は美幸さん、実家が兼業農家で米を作っていることもあって農業をしてみたいという思いがあったといいます。

一方、福岡の強豪校でサッカーをしていた政孝さんは20代の頃、子ども達にサッカーを指導をしていた経験があり、いつの日かまた子ども達に教えたいという思いを抱いていました。そして今、川南でその思いを実現させています。「この町に来て、お互いにやりたかったことができるようになった。本当に最高ですよ」

いよいよ1年後に就農へ

あと1年で研修が修了する保坂さん夫妻ですが、今年中に自分たちのハウスが完成するのだそうです。

「研修を受けているトレーニングハウスのすぐそばに20aのハウスが建つんです。場所などすべてを町が斡旋してくれたので本当に助かりました。第1期の研修生たちはみんな同じ場所で就農するので、何かあったときにはすぐに相談できますし、安心して営農をスタートできそうです」と政孝さん。夫婦二人三脚で歩み始めたピーマン農家の道は希望に満ちあふれています。



トレーニングハウスで収穫をする政孝さん